

新潟医療福祉大学がフルノシステムズの無線LAN アクセスポイント・管理システムを採用

～日本最大級の医療系総合大学がキャンパス全域にWi-Fiネットワークを整備
東京ドーム5個分の広さで「どこでも快適につながる」学習環境を実現～

業務用無線機器メーカーの株式会社フルノシステムズ（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：中谷聡志、古野電気(株)関連会社）は、学校法人 新潟総合学園 新潟医療福祉大学（新潟県新潟市北区）のキャンパスネットワーク整備において、業務用無線LANアクセスポイント「ACERA（アセラ）」と無線ネットワーク管理システム「UNIFAS（ユニファス）」を採用いただきました。ACERAの導入により、学内のどこにいても快適につながる通信基盤が構築され、UNIFASによって広大なネットワークを安定的に管理できる体制が整いました。



学生食堂や研究・実習棟のフリースペースにACERAを設置

■ ACERA 導入の背景

新潟医療福祉大学では、2008年より学内Wi-Fi整備を段階的に進めてきました。棟の新築や学部、学科の新設による学生数増加の影響で「多台数接続時の遅延」「通信切断」「オンライン講義中のアクセス集中による通信不良」などの問題が顕在化していました。特にオンライン講義の普及に伴い学びを止めない無線ネットワーク再構築が求められる中、これらの課題解決を目指し、キャンパス全体のネットワーク基盤としてフルノシステムズの無線LANアクセスポイント（以下AP）「ACERA（アセラ）1310」「ACERA 1320」を採用しました。講義室・学修スペース・廊下・学生食堂への設置で、東京ドーム5個分の敷地面積を誇る広大なキャンパスのどこにいても快適なWi-Fi利用が可能となりました。

また、多台数同時接続しても途切れないネットワーク環境が実現し、オンライン講義の質が向上しました。「つながって当たり前」を支える強固なAPの無線通信基盤が、未来の医療・健康・福祉・スポーツ分野を切り拓く学生たちの学びや研究を支えています。

■ 学びを止めない。つながる通信環境の設計～オンデマンド配信で講義視聴も快適に～

広大なキャンパス全域の通信環境強化を目的として、Wi-Fi6対応のAPを157台設置しました。講義や休憩時間には約3,000台の端末が安定接続しています。講義室の規模によって2台～4台、廊下や学修スペースなどの共有部にもAPを設置したことでオンデマンド配信での講義視聴もスムーズになりました。フリースペースではノートPCを広げて自習に取り組む学生の姿が多くみられるなど、学びを支える通信基盤として常時安定稼働しています。



■ UNIFASによる集中管理で負担軽減

キャンパスネットワークを安定運用するためには、高度な監視・管理が不可欠です。新潟医療福祉大学では限られた人数でネットワーク管理業務に従事しており、従来の仕組みは管理者の業務負担が過大でした。無線ネットワーク管理システム「UNIFAS」オンプレミス版の導入により、広大なキャンパスに設置された多台数APと各種端末の接続状況を一括集中管理が実現しました。チャンネルや強度の変更時の操作設定も管理画面から簡単にでき、スケジュール機能で夜間アップデートの自動化も可能です。常時監視が不要になったことで、人による更新作業の負担が軽減し、限られた管理人数での運用もスムーズになりました。

【フルノシステムズについて】

フルノシステムズは、無線LANシステム分野のリーディングカンパニーです。無線ハンディターミナルをはじめ、無線LAN構築には欠かせないモバイル&ワイヤレスソリューションを提供しています。無線ネットワーク管理システム『UNIFAS (ユニファス)』およびネットワーク機器『ACERA (アセラ) シリーズ』は、国内メーカーである高い品質と技術、充実したアフターサービスが評価され、オフィスや学校、公共施設においてシェアが拡大しています。

■ホームページ <https://www.furunosystems.co.jp/>

※記載されている商品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

【問合せ先】株式会社フルノシステムズ

〒130-0026 東京都墨田区両国3-25-5 JEI 両国ビル

【広報窓口】TEL:03-5600-5115 マーケティングコミュニケーション室 広報担当：横川

URL : <https://www.furunosystems.co.jp/> Mail : webmaster@furunosystems.co.jp